

展示部会の進め方と事例について

1 整備方針の展示について

整備方針では、展示内容について、『歴史』、『民俗』、『偉人』などの3つを大きく分けて考えている。

また、整備方針では、「展示室」と示しているが、具体的には常設展示室と企画展示室の区分や渡り廊下の展示活用、浜田城資料館との関係などを前提に検討する。

歴 史	民 俗	偉 人
		
<p>中世の土器や石器</p>	<p>明治・大正の民具</p>	<p>柿本人麻呂の紹介</p>
		
<p>浜田城下町絵図</p>	<p>昭和の民具</p>	<p>島村抱月の紹介</p>

2 展示部会の進め方・協議内容について

作成：令和2年12月22日

トータルメディア開発研究所

(1) 展示部会のスケジュール

歴史文化保存展示施設専門検討委員会は、今回から3回にわたり、展示部会・活用部会に分かれて協議をおこなう予定。展示部会については、以下のスケジュールで検討を進める。

○第1回

- ・展示部会の進め方・協議内容について
- ・事例紹介
 - 基本方針・展示のテーマ・展示構成の例
 - 歴史系展示の展示手法の例

○第2回

- ・浜田市歴史文化保存展示施設における方針・テーマ・構成の検討①
- たたき台を提示し、意見交換

○第3回

- ・浜田市歴史文化保存展示施設における方針・テーマ・構成の検討②
- 第6回の意見を踏まえた構成の修正
- 主要な展示資料・展示手法を検討

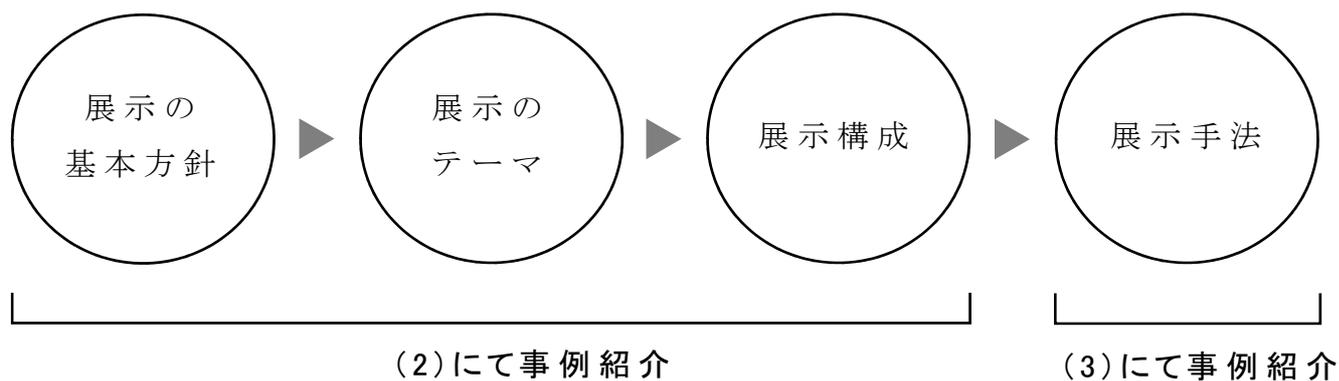
3 展示基本計画・手法の事例について

作成：令和2年12月22日

トータルメディア開発研究所

(1) 展示基本計画の考え方

展示基本計画については、下図のフローで検討をおこなう。



(2) 基本方針・展示のテーマ・展示構成の例

※以下を参考事例として示す。別紙1を参照。

- ・ 熊本博物館リニューアル基本構想・基本計画概要版（案）
（平成24年3月 熊本市教育委員会）
- ・（仮称）札幌博物館基本計画
（平成27年3月 札幌市）
- ・（仮称）静岡市歴史文化施設建設基本計画 概要版
（平成28年3月 静岡市）

(3) 歴史系展示の展示手法の例

- 独立ケース実物展示（十日町市博物館）
- 壁面ケース実物展示（舞鶴引揚記念館）
- レプリカ展示＋タッチモニターによる補足コンテンツ
（沖縄県立博物館・美術館）
- ジオラマ模型（奈良公園バスターミナル）
- 昔のくらし・産業の情景再構成展示
（上：十日町市博物館／下：燕市産業史料館）
- 歴史年表展示＋一部壁付ケース実物展示（おしかホエールランド）
- パノラマ写真＋橋の欄干造作による情景再現（舞鶴引揚記念館）
- 収蔵庫内の資料を見せる収蔵展示（おしかホエールランド）
- 城模型へのプロジェクションマッピング
（熊本城ミュージアム わくわく座）
- 実物展示ケースと映像投映の組み合わせ演出（十日町市博物館）
- 360度全方位から楽しめる映像什器（出島和蘭商館跡）
- 壁・床2面を活用した歴史ガイダンス映像（船橋市郷土資料館）
- 衣装・駕籠などレプリカを用いた写真撮影スポット
（熊本城ミュージアム わくわく座）
- カメラとモニターを用いたデジタル衣装体験
（宮島口旅客ターミナル）

■ VR(バーチャルリアリティ)による幕末疑似体験(萩・明倫学舎)

■ 偉人(人物)を取り上げた展示の事例

- ・ モニター+実物資料のユニット展示
(西日本シティ銀行ココロ館 歴史・文化サロン)
- ・ 壁面ケースのユニット展示
(農大アカデミアセンター展示スペース「実学の杜」)
- ・ 立体グラフィック+音声展示(さかい利晶の杜)
- ・ 人物書割パネル展示(浜松科学館 みらいーら)
- ・ 人物書割パネル+モニター映像展示(福岡市科学館)
- ・ 本型什器によるエピソード展示(久留島武彦記念館)
- ・ 人が語る映像展示(金融/知のランドスケープ)